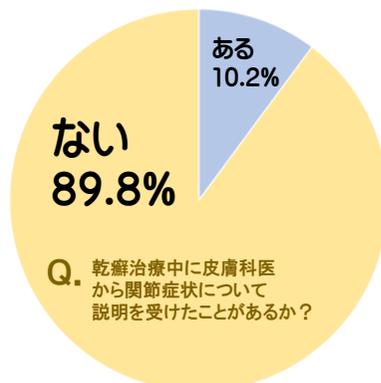


日本乾癬患者連合会の取り組み

関節症性乾癬の難病指定に向けた活動を推進しています。

関節の痛みを抱えつつ、長年診断がつかず適切な治療を受けられず苦しむ患者がいます。中には骨破壊を起こし取り返しのつかないケースとなることもあります。

“皮膚科の先生方の深いご理解とご支援を何卒宜しくお願い致します”



乾癬患者へのアンケート
 ※第113回日本皮膚科学会総会発表演題 P22-4 (5/31 17:25-18:10ポスター会場)
 「関節症性乾癬の受療行動の動向」インターネット患者調査
 発表者: 上嶋 祐太先生、江藤 隆史先生(東京通信)

関節症性乾癬で苦しむ患者

～主に訴える症状～
 ・手足の指の痛みや変形が起こる。
 ・腰や背中、首の痛みや癒着(脊椎炎型)



<指の変形>

～生活障害～
 ・お着もペンも持てない、手先を使う作業に支障が出る。
 ・脊椎の癒着により体が曲げられない。呼ばれて振り向く事もできない、コップの水を飲む事もできない。
 就学・就労へ大きく影響を及ぼすことも…



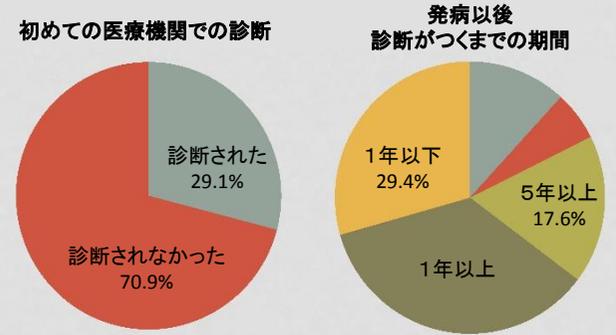
<bamboo spine>

全国各地の患者会2014

平成26年現在20地域の患者会



関節症性乾癬をめぐる問題点 (診断)



関節症性乾癬をめぐる問題点 (医療環境)

<p>診断されなかった時の症状</p> <ul style="list-style-type: none"> 全身関節痛、坐骨神経痛のような痛み。 痛みが強く寝返りも打てない状態。 指・第一関節の痛みと盛り上がり。 全身各関節のうづき。 全身四肢の関節の腫れと痛み。 右手首の炎症と痛み、ペンが握れない。 首の痛み。 	<p>診断のつかない理由 患者として考えられること</p> <ul style="list-style-type: none"> 乾癬と関係ないと思って伝えなかった。 老人性の変形と思っていた。 尿酸値が高かった為、痛風と言われた。 血液検査と画像で異常がみられない。 乾癬に詳しい整形外科医が少ない。 関節症を診られる皮膚科医が少ない。(皮膚科と整形外科の中間領域のため) 整形外科と皮膚科の診療連携が薄い。
--	---

※マクロミル 乾癬における関節症状インターネット調査 2013年9月 江藤隆史 先生 監修 東京乾癬の会P-PATアンケート調査結果より引用

日本乾癬患者連合会 (JPA)

日本乾癬患者連合会WEBサイト
<http://jpa1029.com/>